

血液がん

より良い治療とより良い治療



資料代 1人1,000円
※参加の事前申し込みは不要

日時：2011年11月19日(土) 13時～17時

会場：琉球大学医学部 臨床講義棟小講義室

共催：沖縄県骨髄バンクを支援する会

協賛：NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、がん電話情報センター、NPO法人白血病研究基金を育てる会

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群…など、病気本体や治療法が複雑でわかりにくくまた治療期間が長い血液がんですが、ぜひ基本から学んで理解を深めましょう。また「同じ血液がんでも自分とは病名のちがう疾病」と「自分では受けないかも知れない治療法」についてもぜひお話を聞いてください。いろいろな治療法の概略を理解することは、自身の病気を深く知る上で、さらにより良い治療選択をする上でとてもたいせつな事です。

第2部ではそれぞれの疾患のグループにわかれ、専門医を交えてご自身の病気治療の進歩を共有し、同じ疾患の方々交流与合作します。さらに、寄せられた質問へのアドバイスを皆で共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。第3部では、看護師さんや緩和ケアの先生から暮らし(生活感覚)に密接なアドバイスを受けて、より良い治療とより良い闘病生活を目指しましょう。講演を聴いて質問が湧けば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出し、疑問「解決の1日」としてください。

座長 社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 血液内科 平良直也先生

総会司会 NPO法人血液情報広場・つばさ 橋本明子

I. 全体会の(1) 血液がんについて基礎知識をもとう

血液と血液がんの病態

琉球大学医学部付属病院 骨髄移植センター(第2内科) 友寄毅昭先生

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、など、造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことを知ることで自身の疾患の理解を深めます。また、標準治療の「標準」やとても気になる言葉「治験に参加」、「エビデンスに基づいた医療」などの意味について聴きます。

血液がんの治療

慶應義塾大学病院 血液内科 岡本真一郎先生

血液がんの治療には化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法、放射線治療、免疫療法、そして支持療法などがあります。主にここでは化学療法、移植、分子標的療法について焦点をあて、それぞれの治療の特徴と使い分け、最新の臨床データ、移植が必要な場合のタイミングなどについて学びます。

II. 疾患別Q&A分科会 各分科会同時進行(司会進行は、各患者会関係者)

各疾患の特徴と治療法の特性・進歩についてご説明いただき、個々の疾患について質疑応答を行ないます。分科会参加者全員と講師とが一体となってさまざまな疑問について話し考えましょう。

○急性白血病	国立がん研究センター中央病院 造血細胞移植病棟	黒澤彩子先生
○慢性骨髄性白血病	慶應義塾大学病院 血液内科	岡本真一郎先生
○骨髄異形成症候群	琉球大学医学部保健学科 血液免疫検査学	栗山一孝先生
○悪性リンパ腫	日本赤十字社 沖縄赤十字病院 血液内科	朝倉義崇先生
○多発性骨髄腫	ハートライフ病院 血液内科	平良直也先生
○小児科	琉球大学医学部付属病院 骨髄移植センター	百名伸之先生
○ATL	ハートライフ病院 血液内科	宮城敬先生

III. 全体会の(2) より良く暮らしながら闘病するために

暮らしと血液がん治療

◎血液病棟のナースから：清潔ケアについて

ハートライフ病院 藤本寿賀子さん

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの重篤な合併症をより少なくして、快適な闘病生活をおくるために、手洗い・口腔ケアなどの予防や清潔のたいせつさを繰り返し確認しましょう。

◎外来化学療法室のナースから：外来化学療法の実際と看護

琉球大学医学部附属病院 里見雄次さん

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅で問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスを聴きます。

◎小児病院病棟ボランティア15年の経験から

千葉県立こども病院/NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアズ 井上富美子さん

クリスマス会、ハゼ釣り大会、アニマルセラピー…。「子ども達に、<闘病経験>からたくさん心のお土産を持って学校生活に帰ってほしい」。そんな思いを込めて病棟での援助を繰り返して来ました。自身の子も小児がん経験者です。

共に考えるより良い治療とより良い治療 会場全体とのQ&A 講師全員

血液がん共通の質問を司会者が読み上げ、複数の講師からのアドバイスを聴き、各自の参考として共有します。

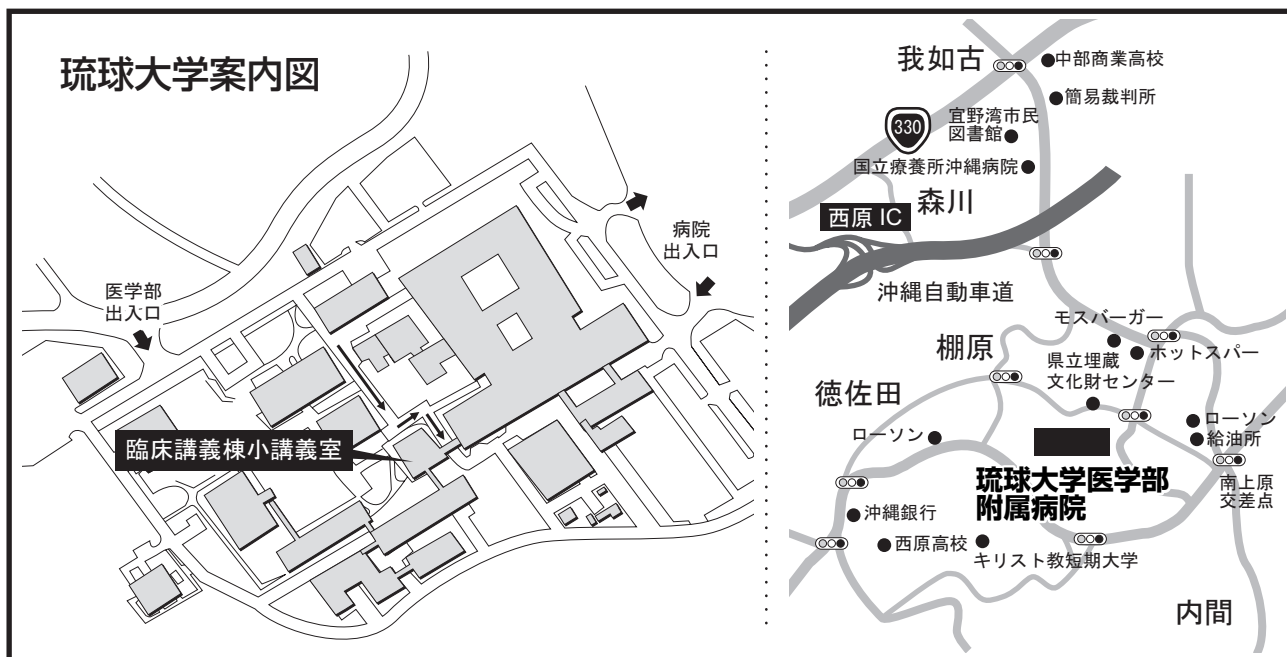
賛助企業

ノバルティスファーマ株式会社、 Bristol-Myers Squibb 株式会社、 協和発酵キリン株式会社、 中外製薬株式会社、 ヤンセンファーマ株式会社、 日本新薬株式会社、 セルジーン株式会社、 株式会社ヤクルト本社、 バイエル薬品株式会社、 富士フィルムRI株式会社

※協和発酵キリン株式会社、株式会社ヤクルト本社より、飲料の提供があります。

会場案内図／琉球大学医学部 臨床講義棟小講義室

住所：〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地



つばさフォーラムでの質問（相談事）※フォーラムへの参加申し込みは不要です

○A4 以下の紙 1 枚に、下記の①～⑥を書いて送って下さい。（送付開始は 10 月 1 日から、締め切りは 11 月 15 日必着までです）。

質問（相談事）は 2 件までで、1 件を 200 文字程度で。

○質問内容は、個人的なことでも一般的なことでもかまいません。「これは個別相談の方が良い」と主催者側で判断した場合は、会場においての講師どなたかに対応していただきます。

※講師のご指名はできませんので予めご了承ください。

FAX 送付 03-3203-2570

郵便送付 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 5 3 3

NPO 法人血液情報広場・つばさ 沖縄フォーラム係

①病名

②患者さんの性別と年齢

③ご質問（相談）※2 件までで 1 件は 200 文字程度。

漏えいがおきないように努めますが、病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合がありますが、個別対応の場合に主治医と重複しないためです。以上、ご了承ください。

④ご相談者さんのお名前（会場に見える方。患者さんとの関係）

ご連絡先電話番号（必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただくためです）。

⑤フォーラム参加予定会場（例 沖縄 長崎 など）

※寄せられた質問（ご相談）は、全体会・講演、疾患別分科会 Q & A、場合によっては個別相談などで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。意外とたくさんの人が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、再発したのが再寛解導入の可能性はあるか、等々。また、退院後の生活、家族の問題（夫婦生活は可能？ 気持ちを理解されない等）、治療後いつから赤ちゃんを授かれる？ セカンドオピニオンの切り出し時、就職活動、学校での生活、結婚を前に病気をして不安…、なんでもこの際、どうぞ。

お問い合わせ

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503（月～金 12 時～ 17 時）

つばさフォーラムにご協力いただき、本当にありがとうございます。

・ 沖縄県骨髄バンクを支援する会	http://www.marrow.or.jp/okinawa/
・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット (JCRSU)	http://www.crsu.org/
・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会	http://www.flrf.gr.jp/
・ 慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族の会「いずみの会」	http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/
・ NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ	http://www.millefeuille.or.jp/
・ 日本骨髄腫患者の会	http://www.myeloma.gr.jp/
・ 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会	http://www.geocities.jp/mdsrenraku/
・ NPO 法人ライフボート	http://www.lifeboat.jp.net/
・ 院内患者会世話人連絡協議会 (HosPAC)	http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm